

## 最初にこのファイルの使い方を説明します！！

※この単位修得状況確認表は、OS:windows、Office2016での使用を想定しており、それ以外の環境下で使用し、不具合が発生した場合には、学内の共有PC(総合情報基盤センター端末室、共用講義棟2階情報処理演習室)をご利用ください。

○このエクセルファイルは5つのシートで構成されています。(2020年7月時点で、office2019での動作も問題ないことを確認しています)

	シート名	説明
(1)	【説明用シート】	このファイルの使い方を説明するシート
(2)	入力シート【専門】	専門教育科目の単位修得状況を入力するシート
(3)	入力シート【共通】	共通教育科目の単位修得状況を入力するシート
(4)	卒業研究着手判定条件	(2)と(3)で入力した単位修得状況から、卒業研究着手判定を自動で行うシート
(5)	卒業判定条件	(2)と(3)で入力した単位修得状況から、卒業判定を自動で行うシート

### 【単位修得状況確認表作成～面談の流れ】

1. 入力シート【専門】を入力する。
2. 入力シート【共通】を入力する。
3. 自動で作成される「卒業研究着手判定条件」又は「卒業判定条件」シートをA4用紙で印刷し、署名欄に手書きで署名する。  
(自分の所属するコース又は希望するコースを印刷してください。)
4. 教員との面談の際に、印刷・署名したシートを持参する。  
※1～3の詳細については、以下の説明を確認してください。

### 【MS学科のみの注意事項(追加)】

※MS学科のファイルは、上記の5つのシートに加えてMコースのみ用のJABEEに関するシートが含まれています(合計7つ)。

※Mコースは、このファイル記入後の扱いは別途指示する(記入後に、印刷、署名、持参する必要はない)。



2. 次に(3)入力シート【共通】を入力します。

1. 共通教育科目の修得した「**単位数**」をオレンジ色部分に入力してください。(修得した単位がない場合は入力不要。)
2. **卒業に必要な単位及び卒業研究着手に必要な単位**に対して不足している単位数が右下の「共通教育科目 単位チェック結果」部分に表示され、枠外に判定結果が「◎」「×」で表示されます。

**共通教育単位チェック表【工学部 (電気電子情報工学科以外)**

1. オレンジ色部分に、修得した「**単位数**」を入力。

入門科目	大学教育入門セミナー	1科目 2単位			2
基礎教育科目	第1外国語(英語または日本語) *留学生のみ日本語選択可	6科目(6単位)			6
	情報処理基礎	1科目 2単位			2
<b>入門科目・基礎教育科目 小計</b>					<b>10</b>

  

共通 教養 科目	群	分野	コア履修	自由選択履修		
	地域コア科目群	ものづくり・産業振興・技術経営分野	2分野	1科目 2単位	2科目 4単位	0
		持続可能な社会・環境づくり分野のうち、「科学技術と倫理(必修)」以外		1科目 2単位		0
		持続可能な社会・環境づくり分野のうち、「科学技術と倫理(必修)」		科学技術と倫理 2単位		0
	原子力・エネルギー分野			0		
	群	分野	均等履修			
	教養教育科目群	人間理解・言語コミュニケーション分野	1科目 2単位	1科目 2単位	2科目 4単位	8
		歴史・文化理解分野				0
		社会経済分野	1科目 2単位	1科目 2単位		0
		科学技術分野				0
	第二外国語 (独・仏・中 I～IV)				0	
群	分野					
教養専門教育科目群	教育学分野 工学分野 国際地域学分野				0	

  

**共通教養科目【18単位】**

\***コア履修【6単位】**：  
地域コア科目群3分野の内から2分野各1科目  
及び上記2科目とは別で、『科学技術と倫理』(必修科目)を履修

\***均等履修【8単位】**：  
教養教育科目群の「人間理解・言語コミュニケーション分野」と「歴史・文化理解分野」の内から2科目、「社会経済分野」と「科学技術分野」の内から2科目

\***自由選択履修【4単位】**：  
地域コア科目群、教養教育科目群、教養専門教育科目群及び国際地域学部開講の第二外国語科目の内から履修(共通教養科目で20単位修得するまで)

<b>共通教育科目 単位チェック結果</b>		不足単位数
入門科目	0	
第1外国語	0	
情報処理基礎	0	
コア履修	4	
コア履修のうち、「科学技術と倫理(必修)」	2	
均等履修	0	
自由選択履修	0	
<b>卒業要件に係る不足単位数合計</b>	<b>10</b>	
<b>卒業研究着手要件に係る不足単位数合計</b>	<b>6</b>	

  

<b>判定</b>	
卒業要件	×
卒業研究着手	×

2. **卒業に必要な単位及び卒業研究着手に必要な単位**に対して、不足している単位数が表示される

判定結果が表示される。

★卒業研究着手要件について  
各区分ごとに定められている卒業に必要な単位数を超えて修得した単位数は、卒業研究着手に必要な単位に含めることはできません。

(例1)コア履修【6単位】  
「ものづくり・産業振興・技術経営分野」で4単位修得し、それ以外に「科学技術と倫理」(必修)2単位を修得した場合  
⇒「科学技術と倫理」(必修科目)とは別で、地域コア科目群3分野の内から2分野各1科目を修得できていないため、「コア履修」として卒業及び卒業研究着手に含めることができるのは4単位のみ。  
ただし、「自由履修」が未修得の場合は、「自由履修」として2単位分を卒業及び卒業研究着手に含めることができる。

(例2)均等履修【8単位】  
教養教育科目群4分野のうち、いずれか1分野で8単位修得した場合  
⇒教養教育科目群で修得済みの8単位のうち、4単位は「均等履修」の単位となるが、残りの4単位は卒業及び卒業研究着手に必要な単位に含めることができない。  
ただし、「自由履修」が未修得の場合は、「自由履修」として4単位分を卒業及び卒業研究着手に含めることができる。

※上記は一例であり、不明な点がある場合は、教務課に問い合わせること。

3. (4) 卒業研究着手判定条件、(5) 卒業判定条件にそれぞれ判定結果が表示されます。

※全コース分の判定結果が表示されます。自分の所属するコース又は希望するコースを確認・印刷してください。

- ① 卒業研究着手又は卒業に必要な単位数の条件が表示されています。
- ② 入力シート【専門】、入力シート【共通】で入力した修得済み科目の単位数が表示されています。
- ③ ②のうち、卒業研究着手又は卒業に算入できる単位数が表示されています。
- ④ 卒業研究着手又は卒業に必要な単位数に対して、不足している単位数が表示されています。
- ⑤ 卒業研究着手又は卒業に必要な科目のうち、不足している科目名(括弧内の数字は単位数)が表示されています。

(注) 不足科目名については、**必修科目のみ**表示されます。

- ⑥ 学生便覧に記載されている「卒業研究着手要件」又は「卒業要件」の判定結果が表示されています。
- ⑦ 自分の所属するコース又は希望するコースの判定結果をA4用紙に印刷してください。
- ⑧ 「この判定表は参考として活用するもので、判定結果を保証するものではない」ということを十分理解した上で、

署名欄に必要な事項を手書きで署名してください。

【卒業研究着手判定】

【卒業研究着手判定表】		コース名： 原子力安全工学コース		学籍番号： 16241223		氏名： 福大 太郎																			
【機械・システム工学科】	共通教育科目合計	専門基礎科目				学科共通科目				専門科目				卒業研究	指定必修	他コース	他学科	専門教育必修計	専門教育指定必修計	専門教育選択必修計	専門教育科目合計	合計			
		必修	指定必修	選択必修	自由選択	計	必修	指定必修	選択必修	自由選択	計	必修	指定必修										選択必修	自由選択	計
		卒業研究着手条件	28以上	18	2	2	22	10	5	8	11	34	5										2	2	9
修得済み単位数	0	2	2	2	30	12	5	23	40	8	11	24	43	5	2	10	17	66	1	27	20	201			
卒業研究着手に算入できる単位数	0	2	2	2	28	10	5	23	38	8	11	24	43	5	2	10	17	66	1	23	20	141			
不足単位数	28	16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14	0	0	0	0			
不足科目名	線形代数Ⅰ(2)、物理学A(力学)(2)、微分積分Ⅱ(2)、線形代数Ⅱ(2)、コンピュータ入門(2)、応用数学A(微分方程式)(2)、応用数学B(フーリエ解析)(2)、物理学B(電磁気学)(2)																								

●卒業研究着手要件

要件	判定
次の要件イ、ロを併せて106単位数以上を修得しなければ卒業研究に着手できない	○
イ、卒業に必要な共通教育科目32単位のうち28単位数以上 (注)	×
ロ、専門教育科目78単位数以上(「科学技術英語」「卒業研究」以外の必修及び指定必修単位数を全て含むこと)	×
ただし、二、所属するコース以外の当学科開講専門科目は、専門教育科目の自由選択科目として、10単位までは卒業に必要な単位数に算入できる。	○
ホ、工学部他学科開講専門科目は、次の条件の下で専門教育科目の自由選択科目として、10単位までは卒業に必要な単位数に算入できる。 ・当学科の専門教育課程表にないこと ・担当教員の承認を得ること ・同名の科目は1科目のみであること	○

(注) 共通教育科目の判定については、修得単位数の合計だけでなく、区分ごとの単位数修得条件も満たさなければなりません。詳細については、必ず「入力シート【共通】」を確認してください。

(注意) 入力ミスやシステムのバグ等により誤った判定結果になる場合があります。この単位数修得状況確認表ファイルで得た結果はあくまで参考として取扱い、最終的な判定は入学年度の学生便覧を熟読の上、必ず自己責任で行ってください。

年 月 日

【学号】: 機械・システム工学科 【コース】: 【学籍番号】: 【氏名】:

【卒業判定】

【卒業判定表】		コース名： 原子力安全工学コース		学籍番号： 16241223		氏名： 福大 太郎																			
【機械・システム工学科】	共通教育科目合計	専門基礎科目				学科共通科目				専門科目				卒業研究	指定必修	他コース	他学科	専門教育必修計	専門教育指定必修計	専門教育選択必修計	専門教育科目合計	合計			
		必修	指定必修	選択必修	自由選択	計	必修	指定必修	選択必修	自由選択	計	必修	指定必修										選択必修	自由選択	計
		卒業判定条件	32	18	2	2	20以上	12	5	17以上	8	11	19以上										5	2	7以上
修得済み単位数	0	2	2	2	30	12	5	23	40	8	11	24	43	5	2	10	17	66	1	20	20	209			
卒業判定に算入できる単位数	0	2	2	2	30	12	5	23	40	8	11	24	43	5	2	10	17	66	1	15	15	153			
不足単位数	32	16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	26	0	0	0	0			
不足科目名	線形代数Ⅰ(2)、物理学A(力学)(2)、微分積分Ⅱ(2)、線形代数Ⅱ(2)、コンピュータ入門(2)、応用数学A(微分方程式)(2)、応用数学B(フーリエ解析)(2)、物理学B(電磁気学)(2)																								

●卒業要件

要件	判定
共通教育科目: 必修12単位を含む32単位 (注)	×
専門基礎科目: 必修18単位を含む20単位以上	×
学科共通科目: 必修12単位を含む17単位以上	○
コース共通科目: 必修8単位を含む19単位以上	○
コース専門科目: 必修5単位を含む7単位以上	○
卒業研究: 必修8単位	○
合計124単位数以上を修得する。	○
ただし、イ、所属するコースの指定必修科目は全単位数を修得しなければならない。	○
二、所属するコース以外の当学科開講専門科目は、専門教育科目の自由選択科目として、10単位までは卒業に必要な単位数に算入できる。	○
ホ、工学部他学科開講専門科目は、次の条件の下で専門教育科目の自由選択科目として、10単位までは卒業に必要な単位数に算入できる。 ・当学科の専門教育課程表にないこと ・担当教員の承認を得ること ・同名の科目は1科目のみであること	○

(注) 共通教育科目の判定については、修得単位数の合計だけでなく、区分ごとの単位数修得条件も満たさなければなりません。詳細については、必ず「入力シート【共通】」を確認してください。

(注意) 入力ミスやシステムのバグ等により誤った判定結果になる場合があります。この単位数修得状況確認表ファイルで得た結果はあくまで参考として取扱い、最終的な判定は入学年度の学生便覧を熟読の上、必ず自己責任で行ってください。

年 月 日

【学号】: 機械・システム工学科 【コース】: 【学籍番号】: 【氏名】:

(注意!!) 入力ミスやシステムのバグ等により誤った判定結果になる場合があります。この単位数修得状況確認表ファイルで得た結果はあくまで参考として取扱い、最終的な判定は入学年度の学生便覧を熟読の上、必ず自己責任で行ってください。